

令和元年度次世代につなぐ景観資源再生事業

1 事業実施箇所

(視点場名等) かくら けい
鹿倉の景

(視点場紹介) 耶馬溪は文政元年(1818)頼山陽が、日田より山国谷に入り、その奇岩奇勝の溪谷美を称賛して『耶馬溪図巻記』に「耶馬溪山天下無」と詩い、ここから耶馬溪と名付け全国で紹介したことで観光地としての人気が高まりました。

紅葉シーズンには素晴らしい景色が眺められます。

2 実施時期

令和元年10月

3 写真



実施前



実施後



紅葉シーズンの写真(鹿倉の景周辺)



紅葉シーズンの写真(鹿倉の景周辺)

4 PRコメント

耶馬溪は、大正12年(1923)、国の指定名勝に指定され、昭和25年(1950)「耶馬日田英彦山国定公園」の指定地に含まれています。

さらに、平成29年(2017)に、中津市と玖珠町で「やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～」のストーリーで文化庁の日本遺産に認定されています。

玖珠町鹿倉の景は、この名勝耶馬溪内に位置しており、展望所周辺の景観支障木を伐採したことで、車窓からも美しい景色が眺められるようになりました。